

＊ 切手趣味週間の「星を見る女性」の初日カバー

アーカイブ室新聞第 310 号に「国立天文台及び天文学に関する事項が登場する切手の収集」という記事を書いた。その収集された切手の中に国立天文台のお近くにお住まいの秋山さんという方から頂いた「太田聰雨「星を見る女性」」という美しい切手があった。この記事を読んだ横浜の野地さんが、その切手の「初日カバー」を持っているとその写真を送ってくださった(写真1)。



写真1 「星を見る女性」切手の初日カバー

この初日カバーは、望遠鏡の接眼レンズをのぞく女性のアップが載っており、望遠鏡をのぞく姿がよく描かれていて味わい深いものがあり国立天文台で月2回行われている観望会の様子を思わせるものである。国立天文台(前身の東京天文台、緯度観測所など)が直接登場する切手はごく限られているので、このように天文学に関係した切手も収集しようと思っていたら、このように美しい切手に出会った。